

令和元年度 決算報告書

国立大学法人 滋賀医科大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,651	5,869	218	(注1)
施設整備費補助金	518	518	-	
補助金等収入	125	246	121	(注2)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	21	21	-	
自己収入	23,454	25,385	1,931	
授業料、入学料及び検定料収入	639	657	18	(注3)
附属病院収入	22,693	24,315	1,622	(注4)
雑収入	122	413	291	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,344	1,214	△130	(注6)
引当金取崩	364	447	83	(注7)
長期借入金収入	475	474	△1	
目的積立金取崩	-	237	237	(注8)
計	31,952	34,411	2,459	
支出				
業務費	28,164	29,152	988	(注9)
教育研究経費	4,729	6,307	1,578	
診療経費	23,435	22,845	△590	
施設整備費	1,014	725	△289	(注10)
補助金等	125	246	121	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,344	1,143	△201	(注12)
長期借入金償還金	1,305	1,280	△25	(注13)
計	31,952	32,546	594	
収入-支出	-	1,865	1,865	(注14)

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階で使用を見込んでいた承継職員に係る退職手当が見込に対して退職者が多かったこと等により、予算金額に比して決算金額が218百万円多額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、予算段階で見込んでいた国及び滋賀県からの補助金が増額されたため、予算金額に比して決算金額が121百万円多額となっています。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、予算段階で見込んでいた授業料徴収可能人数及び受験者数の増等により、予算金額に比して決算金額が18百万円多額となっています。
- (注4) 附属病院収入については、外来患者数の増加及び診療単価の増等により、予算金額に比して決算金額が1,622百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、科学研究費補助金間接経費収入の増及び医師賠償責任保険金収入等により、予算金額に比して決算金額が291百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階で予定していた産学連携等研究収入等の減収により、予算金額に比して決算金額が130百万円少額となっています。なお、決算額には前年度からの繰越金1,867百万円を含んでおります。
- (注7) 引当金取崩については、予算段階で使用を見込んでいた承継職員以外の職員に係る退職手当が見込に対して退職者が多かったこと等により、予算金額に比して決算金額が83百万円多額となっています。
- (注8) 目的積立金取崩については、予算段階で予定していなかった目的積立金取崩により、予算金額に比して決算金額が237百万円多額となっています。
- (注9) 業務費については、退職給付額の増等により、予算金額に比して決算金額が988百万円多額となっています。
- (注10) 施設整備費については、臨床研究棟改修工事(第Ⅱ期)における一部工程の見直しで、工事の完了が令和2年度になったことにより、予算金額に比して決算金額が289百万円少額となっています。
- (注11) 補助金等については、(注2)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が121百万円多額となっています。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注6)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が201百万円少額となっています。
- (注13) 長期借入金償還金については、借入金の利率の低下により、予算金額に比して決算金額が25百万円少額となっています。
- (注14) 収入－支出は、翌年度以降に用途の特定された賞与引当金等478百万円、業務達成基準等により翌年度以降に用途の特定された運営費交付金債務58百万円、産学連携等研究経費及び寄附金事業費等の執行残額70百万円、施設整備費補助金の翌年度への繰越額288百万円等を含んでいます。